

# 第14回 さいたま市保育研究大会

## 子どもたちのすこやかな成長を願って ～ 今、私たちにできること ～

令和2年の初頭から世界中に広がった新型コロナウイルス感染症により、保育現場においても未だに多大な影響を受け続けています。そのような状況の中で「子どもたちの今しかできない大切な経験」を保障するために、それぞれが携わる業務の中で模索し、見直しや工夫を続け、日々を重ねてまいりました。

さいたま市保育研究大会においても、開催方法の変更を余儀なくされ、一昨年は各園での語り合いを深め、昨年は配信を利用した参加となりましたが、その経験を通して、保育に携わる職員が語り合い、認め合うことの大切さをあらためて強く感じることができました。

時代の流れ、社会の流れとともに、保育園、保育者に求められることも変化しています。しかし、保育を取り巻く環境が変わっても、保育の中で大切にすることは変わらない、変えてはいけないことがあると確信した期間でもありました。

今年度、「第14回さいたま市保育研究大会」を集合形式にて、開催いたします。

新たな思いを胸に、さらなる保育の質の向上と飛躍へ繋がるよう、さいたま市の保育に携わる皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【日時】 令和5年1月21日（土）  
12:00～16:30（受付11:20～）

【場所】 RaiBoC Hall（さいたま市民会館おおみや）大ホール  
さいたま市大宮区大門町2-118大宮門街4階～8階  
TEL:048-641-6131



【日程】 12:00 開会  
12:10 実践発表  
（指扇保育園、東武第二保育園、寿能保育園）  
13:25 休憩  
13:55 総評  
15:00 記念講演  
16:30 閉会

### 《総評》

助言者：埼玉大学 教育学部

教授 庄司 康生 氏

### 《記念講演》

「アフターコロナの時代の保育の課題を考える」

講師：一般社団法人 家族・保育デザイン研究所  
代表理事 汐見 稔幸 氏

【主催】さいたま市、さいたま市私立保育園協会